



# 平成27年1月29日 全国がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同フォーラム がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成

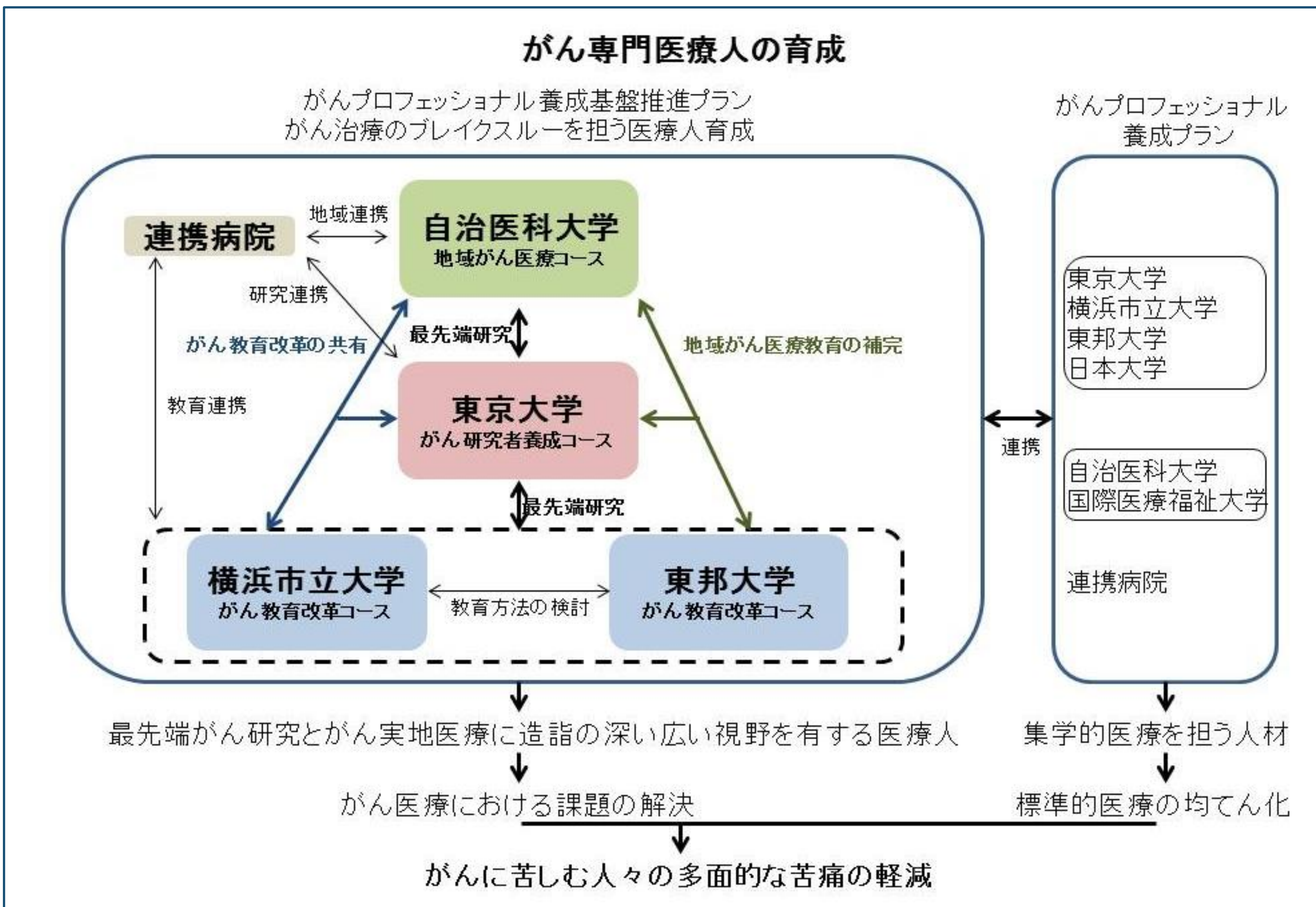
東京大学・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学 <http://ganpro.umin.jp/ganprokibansuisin>



## 概要

がん医療の均てん化が推進されている現在においても、根治できない難治がんが多数存在することや緩和ケアが不十分であることなど、がん医療には未解決の課題が山積している。これらの課題に対して、**がんの本質的な研究を遂行できる環境を拡大整備し、他職種の医療人が異なる角度から協力し臨床問題解決型の研究を行うことが必要**である。

本プランでは、研究者養成に重点を置く東京大学と教育改革や地域医療を推進する横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学が連携することにより、**最先端研究とがんの実地医療の両方に力を注ぎ、広い視点からがん医療を先導し改革することのできる医療人の育成**を目指す。その結果、がん治療のブレイクスルーとなる成果が得られるとともに、がん患者のがんによる苦痛が軽減されることを期待する。



- 東京大学に**がん研究者養成に重点を置くコース**を設置することにより、がんの根治を目指す薬物療法と放射線療法を開発するために必要な研究を遂行する能力を有する医療人を育成する。
- 緩和医療で10年の実績を有する東京大学に緩和医療学講座を設置し、**がん研究者養成に重点を置くコース**においてがん治療における身体及び精神症状に対する治療開発を担う能力を有する医療人を育成する。
- 横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学に、地域がん医療に貢献する**がん専門医療人に重点を置くコース**と、**がん教育改革によるがん専門医療人養成に重点を置くコース**を設置し、専門職協働、がん医療マネジメント、先端がん医療に深い造詣を有する医療人を育成し、ストレスの少ない効率のながん医療体制の確立を推進する。

## 各施設の教育コース

大学	専攻	教育コース	重点	目標人数(5年間)
東京大学	大学院医学系研究科	がん研究医療人養成コース	研究者	50
横浜市立大学	大学院医学研究科 医科学専攻	先端的がん治療専門医療人養成コース	教育改革	15
東邦大学	大学院医学研究科 腫瘍学専攻	がん多職種連携教育コース	教育改革	13
自治医科大学	大学院医学研究科 地域医療学専攻	総合医・地域腫瘍学コース	地域貢献	14

## これまでの取り組み

### がんプロフェッショナル養成プラン

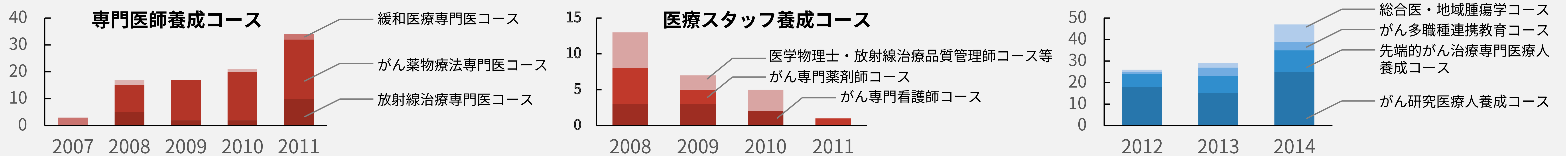
19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市立大、東邦大、日本大板橋病院にがんセンター設置（東京大学は設置済）</li> <li>横浜市立大にてeラーニングシステムを稼働</li> <li>横浜市立大に臨床腫瘍学講座を設置</li> <li>横浜市立大で多職種を対象にした乳がん学校第1期を開講</li> <li>日本大附属板橋病院に腫瘍センター、緩和ケア外来、がん相談支援センターを設置</li> </ul>
20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市立大にて多職種を対象にした乳がんの最新治療の教育を目的とした乳がん学校第2期を開講</li> <li>東邦大学にて基礎腫瘍学及び臨床腫瘍学を開講</li> <li>東邦大学に院内及び院外の医療従事者を対象とした「東邦化学療法会」を設立</li> <li>日本看護系大学協議会より東京大看護師コース（がん看護：専門看護師教育コース）が専門看護師教育課程に認定</li> <li>横浜市立大にて市民・がんプロ公開セミナーを開始</li> </ul>
21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市立大学附属病院に緩和医療部を設立</li> <li>東邦大学にてeラーニングによる講義を開始</li> <li>日大板橋病院がん相談支援センターで地域医療支援業務開始</li> </ul>
22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>東邦大学で社会人専攻生によるがんプロコースを開講</li> <li>日本大学医学部にインテンシブコースを設置</li> </ul>
23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京大学医学部附属病院の緩和ケア診療部が院内措置の組織から大学が定める組織に認定</li> <li>横浜市立大にて多職種を対象にした乳がんの最新治療の教育を目的とした乳がん学校第4期を開講</li> </ul>

### がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

- 学生の成果発表の場を設け、他分野の研究やキャリアパスを聴講できる機会を作るために、**がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン履修生による研究発表会**を開催し、**がん研究レベルの向上**を図る。
- 「がん治療のブレイクスルーを担う人材育成」という目標を達成するためのキャリアパス形成を手助けし、患者の視点に立った問題解決意識を向上させるために**チューター制度**を構築する。
- 指導教員によりがん医療における臨床的能力を積極的に評価する。

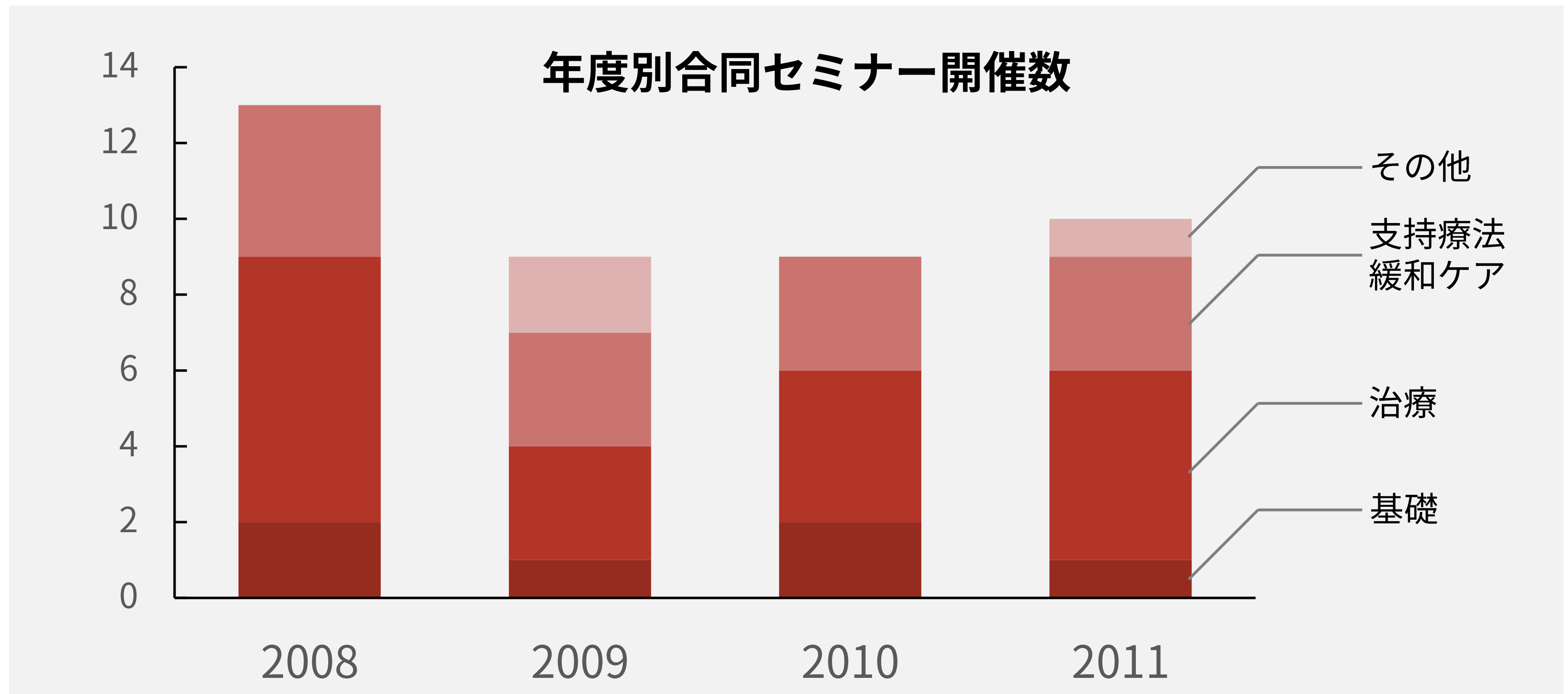
第1回 研究発表会 (2012年12月22日開催)	
血液・腫瘍内科	NF-κB/TNF-αフィードバックループとプロテアソーム機構の活性化は骨髄性腫瘍の白血病幹細胞機能を支持する
薬剤部	スニチニブによる副作用発現機構の解析
放射線科	全摘後甲状腺分化癌に対する放射性ヨード内用療法の線量分布
緩和ケア診療部	腹水濾過濃縮再静注法の実践と臨床的効果
消化器内科	降圧薬と大腸ポリープとの関連について
血液・腫瘍内科	慢性骨髄球性白血病由来iPS細胞の樹立とその解析
第2回 研究発表会 (2013年12月22日開催)	
消化器内科	胃内視鏡的粘膜下層剥離術後早期の内視鏡介入が術後出血へ与える影響についての検討
放射線科	治療中コンビーム断層画像と医療用加速器の動作記録を用いた4次元線量分布計算
看護部	手足症候群のQuality of lifeに関する研究
血液内科	低形成性骨髄異形成症候群の臨床病態に関する研究（全国多施設後方的研究）
消化器内科	切除不能進行膵癌に対するサルベージ化学療法についての検討
放射線科	コンビームCTを用いた4次元治療精度検証とその画質改善に関する研究
第3回 研究発表会 (2014年12月13日開催)	
放射線科	小型肺癌に対する高精度放射線治療—回転型強度変調定位照射と重粒子線治療の高精度化
放射線科	コンビームCTによる画像誘導放射線治療を併用した前立腺癌に対する強度変調回転照射
消化器内科	肝細胞がん患者において体組成が予後に与える影響
血液内科	iPS細胞を用いた家族性血小板異常症の病態解析
消化器内科	組織学的腸上皮化生の分布と胃癌発生に関する検討～Helicobacter pylori除菌療法の効果について～

## 養成実績



## 四大学合同セミナー・市民公開講座

### がんプロフェッショナル養成プラン



### がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

開催日	演題	開催日	演題
1 2012.5.22	新規抗がん剤と放射線治療併用の課題 子宮頸がん、食道がんに対する放射線化学療法の ネダプラチンの有用性	15 9.11	悪性消化管狭窄に対するステント治療
2 6.22	ゲノム安定性の特性に基づくがん治療の開発	16 10.9	記者として、サバイバーとして見つめた「がん医療」
3 7.1	腹腔内化学療法の基礎と臨床	17 11.1	スイス・バーゼル大学におけるDOTATOC治療について
4 9.28	骨転移の診断と治療	18 12.19	マルチキナーゼ阻害剤の最近の動向
5 10.4	放射線治療の過去・現在・未来 —4次元治療に向けて—	19 2014.1.16	肝細胞癌で考えるがん治療の未来
6 10.16	白血病幹細胞	20 2.20	がんのゲノム異常
7 11.15	米国での造血幹細胞移植における多職種連携	21 4.17	腫瘍内科の未来を考える～進行癌に対して私たちは何をすべきか～
8 2013.1.24	膵がん撲滅を目指し、医療者とともに闘う 国際 NPO 患者団体 ～Case Study: Pancreatic Cancer Action Network～	22 5.19	がん治療期の痛みに対する薬物療法の実践と留意点 ～なぜWHO式3段階鎮痛ラダーではいけないのか？
9 2.21	緩和医療における臨床研究 現状と課題	23 7.9	膵癌基礎研究の新展開：発癌マウスモデルから臨床を見据えて
10 3.11	分子標的薬の臨床薬理	24 9.18	臨床試験データ管理の基礎 臨床試験におけるチーム医療
11 2013.5.22	機能温存と腫瘍制御の両立を目指した 悪性脳腫瘍に対する治療	25 10.9	がんの認知行動療法
12 6.18	多職種連携による造血幹細胞移植治療	26 10.29	がん患者が情報を知ることの重要性
13 6.24	がん治療医・一般診療医のための がん疼痛緩和のエッセンス	27 12.18	がんにおける地域連携と情報提供のこれからを考えよう
14 8.26	がんにおける非翻訳RNAの役割		

### がんプロ市民公開講座

開催日	演題	開催日	演題
1 2012.1.15	乳癌の最新治療-横浜市立大学の取り組み-	5 11.2	RI内療法によるがんの放射線治療 -スイス・バーゼル大学の取り組みを中心に-
2 2012.9.8	肺がんの治療～内科から、外科から～	6 2014.2.9	地域におけるがん診療の現状と今後
3 2013.2.17	がんと栄養～がんにかからないために、 がんにかかってしまったら～	7 7.30	がんケアチームにおける薬剤師の役割 求められる「患者中心の包括的がんケア」
4 2013.10.20	がん患者のこころ		